



～ 文教のまち西原 ～

町の世帯・人口

(平成3年11月末現在)

8,028戸

口 26,466人

男 13,542人

女 12,924人

11月の人口移動

生 32件 死亡 8件

転入 64件 転出 68件

婚姻 14件 離婚 2件

編集・発行/西原町役場企画課(広報係) 西原町字嘉手苅112番地 ☎098(945)4533 印刷/(協)丸正印刷

新年あけまして

おめでとうございます。

西原町役場

とじて保存すると便利です。

年頭のあいさつ



西原町長

平安恒政

皆様、明けてましておめでとうございます。

輝かしい平成四年の年頭にあたり
謹んでごあいさつを申し上げます。

旧年中、皆様から賜りましたご理解・ご協力に対しまして、衷心より厚く御礼申し上げます。

さて、昨年は、世界を揺るがした湾岸戦争、ソ連邦の解体など、世界情勢は激動を極めました。一方、国内では、バブル経済の崩壊、金融不祥事件等で揺れ、県内では、冷戦時代の終焉に逆行して米軍の演習が激化し、戦略基地沖繩の実態をあらためて浮き彫りにしました。

このような内外情勢の中で、本町ではお陰をもちまして、建設中の西原南小学校・幼稚園がいよいよ四月開校の運びとなりました。また、陸上競技場も供用開始され、継続事業の土地区画整理事業、公有水面埋立事業なども順調に進捗しております。さらに、道路排水等の生活環境整備や新たな都市基盤整備に向けて各種事業が着々と進んでおります。

一方、ソフト事業では、個性的で創造性豊かな人材育成を図るため、町人材育成会の充実・強化、中央公民館図書室の拡充、ジュニアサミツトの開催、文化交流事業・派遣事業の推進、海外移民子弟研修生受入事業の充実等に力を入れてまいりました。また、地域づくり推進事業として、ふれあいバスの購入や西原まつりの開催等、町民融和を図ってきたところであります。

一方、デイ・サービス事業の充実等、各種福祉施策を推進してまいりました。

また、平和事業として、新たに平和駅伝を開催し、町民の平和意識の高揚に努めてまいりました。

このように、各種施策が推進できました事も、偏に町議会・町民皆様の温かいご指導とご協力の賜と深く感謝を申し上げる次第でございます。今年、復帰二十周年にあたる節目の年でもあり、町議会を始め、町民皆様の英知を結集し、「住んでみたい、住んでよかった」と実感できる「文教のまち西原」の建設を目指し全力を傾注致す所存でございます。どうか、なお一層のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、迎える申年が夢と希望にあふれた実り多い年でありますよう町民皆様の益々のご健勝とご繁栄を祈念申し上げます。ご挨拶と致します。

21世紀を創造する人間性豊かな「文教のまち西原」

年頭のことば



町議会議長
城間 光 雄

町民の皆さん、明けましておめでとうございます。
さわやかな新春を迎え、希望

に満ちた輝かしい平成四年の新年を、ご家族お揃いで健やかに迎えのことと心から喜び申し上げます。

町民の皆さんには、常日頃から町政に対する暖かい御理解と絶大な御協力と支援を賜り厚く御礼申し上げます。

お陰をもちまして昨年も、文教のまちとして着実に発展への基礎を固めてまいりましたが、ここに新年を迎え、本町の一段の躍進を期して、がんばる所存であります。

地方議会は町の具体的政策を最終的に決定する場であり、そして又、決定した政策を中心に行う執行機関の行財政の運営や事務処理ないし事業の実施が、すべて適法・適正に、しかも、公平・効率的に、そして民主的になされているかどうかをチェックする機関であります。

行政需要は、量・質とも複雑多様化し厳しいものがありますが、すが平和で住みよい町づくりを目指しご期待にこたえるよう決意を新たにしております。町民各位のご多幸を祈し、新年のあいさついたします。

西原町議会

議長 長
副議長

議会事務局長

城間 光 雄
宮間 信 子
儀間 章 之
与那城 安 一
新城 盛 美
小波 康 美
新津 礼 美
伊波 延 美
大城 孝 美
親泊 孝 美
稲垣 幸 光
比嘉 幸 光
与那嶺 義 雄
富嶺 義 雄
新座 義 雄
前川 義 雄
新座 義 雄
大城 義 雄
上新 義 雄
上野 義 雄
玉那覇 義 雄

平成三年のあゆみ

☆一月

4日○平成三年町年始会
6日○第6回新春トリムマラソン大会
9日○平成三年東部消防本部消防出初式
15日○平成三年町成人式
16日○平成三年第一回町議会臨時会
26日○海外移住者子弟研修生修了証交付式
27日○平成二年度少年剣道・なぎなた大会
29日○町社協一人暮らし老人激励会

☆二月

1日○西原町地域づくり推進事業検討委員会委員の任命及び委嘱状交付式
3日○動く美術館四回西原町展
4日○町民の優先雇用で要請(平安町長自ら四社を訪問)
9日○平成二年度町学推協実践活動同発表会
10日○平成三年度町職員採用

試験

26日○西原町福祉ボランティアの集い
☆三月
2日○平成二年度西原町青少年まちづくり発表会
4日○キリスト教短大前の信号機点灯式
9月○第七回西原町社会教育研究大会
12日○平成三年第二回町議会定例会
17日○スポーツ少年サッカー大会
24日○母子・父子家庭児童入学激励会

☆四月

1日○新行政区スタート
3日○女性行動基本計画策定に向けて委嘱状を交付
4日○町新職員研修(守礼の里)(三日間)
4日○平成三年度町立小中学校教職員辞令交付式
母子保健推進員委嘱状交付式

6日○町地域づくり推進事業検討委員会が答申
7日○平成三年度町婦人連合会総会
12日○事務担任者委嘱状の交付式
15日○那覇綱材(株)が町人材育成会に百万円寄付
25日○こいのぼり掲揚式
27日○平成三年度町保育連絡協議会総会
30日○平成三年度町学推協総会

☆五月

2日○新旧教職員歓送迎会並びに退職者・昇任者激励会
7日○分離新設小学校校名選定検討委員会
8日○町女性行政に関する行政連絡会委員辞令交付式並びに第一回行政連絡会
9日○西原東小学校プール落成式
10日○春の全国交通安全運動出発式
14日○城間哲男氏が町人材育成会に五百万円寄付
15日○5・15平和行進団歓迎交流会
17日○巡回行政相談所を開設

- 第二回西原町農家の集い
21日○平成三年度町青少協總會
○平成三年度町交通安全推進協議会總會
22日○町農業協同組合通常總會
25日○平成三年度民生委員・児童委員協議会初總會
27日○町女性行政に関する地域連絡会委員辞令交付式並びに第一回地域連絡会
○町商工会第十六回通常總會
○金秀グループが町人材育成会と社協へ一三〇万円寄付
28日○町人材育成会平成三年度總會
29日○第十九回町老人クラブ大会
30日○平成三年度町畜産組合通常總會
- ☆六月
2日○第十一回テニス選手権大会
4日○町立三小學校四年生が北谷浄水場見学
5日○平成三年度青少年育成キャラバン活動
11日○町表彰条例に基づく功労者の表彰
13日○第二次総合計画策定にむけての講演会
21日○「西原町の民話」出版祝賀会
23日○第一回西原町平和駅伝開催
25日○平成三年第五回町議会议定例会
28日○平成三年度町子連總會
☆七月
2月○第二次総合計画に向けた第一回策定委員会
6日○「暴力団侵入阻止浦添・西原住民会議」結成大会
○町文化協会第二回總會
8日○西原ライオンズクラブ時計塔を寄贈・除幕式
10日○第十回道路排水愛護デー
13日○第十一回町青少年健全育成協議会町民総決起大会
15日○平成三年度町P連定期總會
16日○平成三年度海外移住者子弟研修始まる
23日○交通情報モニターの委嘱状を交付
○平成三年度町献血推進協議会總會
25日○町民憲章推進協議会の委嘱状交付式及び第一回町民憲章推進協議会
29日○交通安全指導員委嘱状交付式
31日○第十回親善ゲートボール大会
☆八月
1日○町陸上競技場供用開始
2日○町人材育成会派遣費助成金交付式(東中なぎなた部他)
3日○平成三年度「婦人の主張大会」
4日○広島市へ町平和交流団派遣
13日○町ごみ問題対策會議委員の委嘱状交付式及び第一回対策會議
14日○第一回町国際ボランティア貯金普及推進協議会
15日○第四回親子で学ぶ戦争追体験平和バスツアー
17日○ジュニアサミット開催
20日○町国土利用計画検討委員會委員の任命及び第一回検討委員會
☆九月
6日○町関係部幹部職員激励及び交流会
8日○第一回町バレーボール祭開催
9日○新設校(南小・幼)安全祈願祭
10日○第一回町総合計画審議會
○翁長ウシさんが町人材育成会へ七十万円寄付
11日○西原運動公園工事現場安全祈願祭
○米寿慶祝訪問
15日○第八回敬老会(主催社協)
19日○町農業振興推進協議会
24日○平成三年第八回町議会议定例会
28日○第一回町高齢者交通安全全芸能の夕べ
☆十月
2日○町文化協会が高崎芸大と交流
3日○三工事合同安全祈願祭
4日○海外移住者子弟研修生歓迎及び激励会
11日○カジマヤー慶祝訪問
16日○安室く池田線安全祈願祭
18日○秋の行政相談所開設
21日○三町村親善ゲートボール大会
23日○町農業振興懇談会
25日○西原町戦没者追悼式
○第一回町文化協会美術工芸・写真展(三日間)
28日○町庁舎建設検討委員の委嘱状交付式及び第一回庁舎建設検討委員會
☆十一月
1日○町立西原南小學校開校準備室の開設
○玉城政光氏琉球大学教養学部長就任激励会
2日○西原東小學校創立十周年記念式典及び祝賀会
8日○第十二回西原地区小學校童話・お話・意見発表大会
9日○第八回西原まつり(一日目)
10日○第八回西原まつり(二日目)
20日○二十一世紀創造産学官懇話会
21日○ナイター設備増設の点灯式
22日○第七回西原町社会福祉大会
☆十二月
2日○町公害対策審議會委員の委嘱状交付式
3日○町女性行政懇話會委員の任命及び委嘱状交付式並びに第一回懇談会
7日○町学推協実践活動合同発表会
10日○不発弾処理作業
○平成三年第九回西原町議会议定例会
15日○第十二回歩こう歩こう大会



町学推協実践活動合同発表会のもよう

関係者約二百人が参加する
中、與那嶺浩町学推協会長は

「たゆまぬ実践研究によって
子どもたちの意識や態度、学

これまでの活動成果を確認

町学推協実践活動合同発表会

「豊かな感情と確かな学力を形成するには、地域ぐるみの活動をどのようにすすめるか」を研究主題に第七次町学推協実践活動合同発表会が、十二月七日午後二時から、町中央公民館で開催されました。

力の実態も望ましい結果があらわれ、本協議会は客観的にも高く評価されている」と述べました。

その後、宮城清学推協事務局長が、標準学力検査からみた西原町の児童・生徒の実態について報告し、学校部会や

地域部会から実践発表が行われました。

出席者全員が、各支部の実践活動の成果や問題点を確認し合い、全支部結成と継続発展を誓いました。

なお、実践発表者は次の通り。

▽学校部会・津波古智子(西原幼稚園教諭)、宮城たみ子(坂田小学校教諭)、新垣正祐(西原東中学校教諭)▽地域部会・小波津政晴(小波津支部)、平良健二(西原ハイッ支部会長)、比嘉京子(県営西原団地支部)

長期的・計画的に策定

町女性行政懇話会が発足

町女性行政懇話会委員の任命及び委嘱状交付式が、十二月三日午後二時から、役場会議室で行われました。

これは、町女性行動計画の策定に当たって、諮問機関として、各界各層から委員を選任し、広範な意見を反映させることによって、長期的、計画的な行動計画を策定するためのもので、平成四年三月、町に対し答申する予定。

委員十九名の中から会長に選ばれた原喜美さん(沖繩キリスト教短期大学学長)は、あいさつの中で「女性行動計画

は地球規模で、しかもローカルに策定しないといけない大きな問題であり、重要な課題です」と述べました。

副会長には、儀間信子さん(町議会議員)が選ばれ、続いて行われた第一回女性行政懇話会では①町女性問題に関する意識・生活実態調査報告について②町女性行動計画施策体系の検討について③次回の検討事項についてなどの話し合いが行われた。

なお、同懇話会の委員は次の通り。(敬称略)

▽原喜美、西表孫称、島袋哲



町女性行政懇話会のもよう



児童、生徒に租税教育

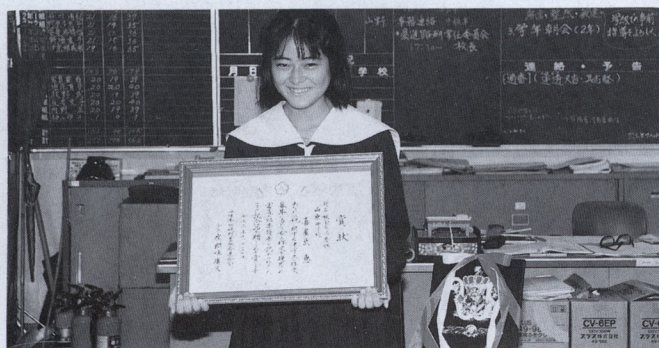
租税の役割や国民の納税義務について、正しい知識の普及に多大な貢献があったと、町教育委員会(稲福恭助教育長)が、11月15日午後、北那覇税務署(長嶺進得署長)から表彰されました。

本町には、町租税教育推進協議会が昭和63年12月に結成され、町立小中学校5校及び琉大附属小・中学校、西原高校(計8校)の各校長及び那覇県税事務所、北那覇税務署町教育委員会、町税務課長らが委員となっています。

同協議会の主な事業は、①児童・生徒並びに成人に対する租税教室の開催②作文募集に対する積極的な協力③租税教育用副教材の配布及び視聴覚広報機材等の貸出しなどがあります。

これらの事業が認められ、今回の表彰となりました。

おめでとうございます。



喜屋武恵さんが優秀賞に

中学生の「税に関する作文」(県納税貯蓄組合連合会主催)の表彰式が11月27日午後、沖縄国税事務所内で行われ、西原中3年喜屋武恵さんが優秀賞に選ばれ表彰されました。

3,362編から選ばれた喜屋武恵さんは「素直に書いた作文が選ばれてとてもうれしい。税は、いやなイメージだったけど、クラスで作ったプレゼントをもって老人ホームへ届ける時、このプレゼントも税のお陰かと思うといいものだった」と話していました。おめでとうございます。

なお、他の入賞者は次の通り。(敬称略)

▷優良賞・宮国徳子、嘉弥真瞳

▷佳作・新垣優子▷優良賞・喜屋武一樹(北那覇青色申告納税貯蓄組合主催)(以上西中)



生涯学習への取組みなど提言

町は、21世紀創造学官懇話会を11月20日午後4時から、金秀都パレスで開きました。

県内の産業界・学界・官界の協調と支援で、本町の教育文化、産業などの集積と活用を図り、地域特性を生かした『文教のまち西原』を創造するためのフリートキンの場。

懇話会では、①ひとつのテーマを設けたシンボリックなものの形成によるまちづくり②文教のまちづくりのための地域との連携のあり方③大学機能の活用の仕方④生涯学習への取り組み⑤産業の振興や自然環境の問題⑥財源の活用に関することなど、貴重な提言が出されました。

なお、委員は次の通り。(敬称略)

▷学界・真栄城守定、比嘉照夫、大城実、玉城政光、西表孫称、▷官界・大城進一、與那嶺浩、城間光雄、平敷静男、平安恒政▷産業界・呉屋秀信、新川明、小波津健、呉屋定子、幸喜徳子



快適で安全な環境づくりを推進

町公害対策審議会委員の委嘱状交付式が、12月2日午後役場会議室で行われました。

委員9名に対し委嘱状が交付された後、あいさつの中で平安町長は「今や公害問題は、地球環境問題になっている同審議会を強化し、快適で安全な住みよい環境づくりを推進しよう」と述べました。

なお、委員は次の通り。(敬称略)

▷会長・上原興盛▷副会長・大城盛孝▷委員・稲福勝美、前里光信、下地郁子、小川孝、平敷恒弘、平良清仁、小川良夫(任期は平成3年12月1日から平成5年11月30日までの2年)



ホームスティで家族が変わった

字桃原89番地、与那城章さん(39才)が、県国際交流財団(大田昌秀理事長)から、11月26日午後、財団創立10周年記念式典で表彰されました。

5年前からホームスティのホストファミリーを務め、ケニア・タンザニア・クアラルンプール他多くのアジア人を受け入れた与那城さんは「ボランティアではあるが、金で買えない何かを得て、自分や家族も変わった。心に壁がない彼等とは、本音でつきあえます」と話していました。

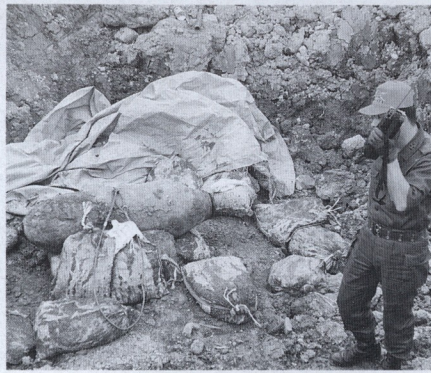


“芝生の上や むちかさぬ”

郵便局主催第2回町ゲートボール大会が、11月17日午前8時30分から、町陸上競技場で開催されました。

これは、ゲートボールを通して地域間の交流と親睦を深め、更に健康増進に役立てるほか、明るい豊かな地域社会の形成に寄与することを目的とし、29チームの参加者がさわやかな汗を流しました。

なお、競技結果は次の通り。
▷優勝・兼久Aチーム▷準優勝・棚原Bチーム▷第三位・幸地Aチーム、7区Aチーム



今だに続く不発弾処理

去る11月18日に沖縄カントリークラブ内の工事現場で発見された不発弾(米国製250キロ)が、12月10日に処理されました。

半径700m円内に位置する字安室・桃原・池田、与那原町の大見武地域の計96世帯、425人が避難対象となりました。

午前10時から処理作業が行われ、約24分で終了し、避難が解除されました。



まず下水道処理施設の整備から

＝『サンライズマリンピア西原』の現状と今後の見通しについて＝をテーマに、町商工会(呉屋定子会長)は、地域問題に関する懇談会を、12月5日午後、西原共同福祉施設で行いました。

町側から概要説明を受けた後、商工会役員側から質疑が行われ、下水道処理施設の整備や、湾岸道路(バイパス)、都市計画についてなど、活発な意見交換や情報交換が行われました。



みんなで支え合う社会に

精神障害者の入退院のくり返しの防止と社会復帰に向けてのデイケアの一環として、第8回浦添市・西原町・知念村合同クリスマス望年会が、12月5日午後、町中央公民館で開かれました。

日頃外に出る機会が少ないハンディをもった方々約200人が、準備や会の運営(進行)にも参加しながら、ゲームやカラオケ、フォークダンスなど、楽しいひとときを過ごしました。



コミュニティ活動が始動

小波津団地自治会(仲本紀男会長)は10月14日、自治省からコミュニティ活動活性化地区指定を受けました。

この事業は「まちづくり」や「文化イベント」を中心とした活動に年間300万円が3年度にわたって交付されるものです。11月30日に臨時総会を開き、平成3年度の活動を協議し、ユリの球根を5千個植えるなど、花いっぱい運動を展開することになりました。



ご存知ですか。空手歴史資料館

字兼久147番地に、沖縄県空手道・古武道歴史資料館があることをご存知でしょうか。

昨年開催された世界のウチナーンチュ大会の空手・古武術大会では、資料の提供や展示等を行い、参観者は、デンマーク、ソ連、メキシコなど世界各国から訪れています。空手の恩師外間哲弘さん(町文化協会武術部会長)を尋ねて南アフリカ(ヨハネスブルク)から来沖したアブドラさん(35才)は、しばらく滞在し資料館で空手の歴史について研究し、翻訳する予定



せいいっぱい演じた学芸会

＝まちがえても はずかしがらずに いきいきと＝をテーマに、西原小学校(島袋宗正校長)は11月23日午前、同校体育館で学芸会を行いました。

全校生徒1,195名によるリズムや合奏、劇、合唱組曲など、演技が終るごとに父母らが盛んな拍手を送っていました。

特に、6年生全員によるオペレッタ「安寿と厨子王」は、参加者の心を和ませてくれたことでしょう。



九州大会で第3位に

ママさんバレーボールチーム・西原クラブが、ユニートダイエーカップ第17回九州ママさんバレーボール優勝大会(熊本県会場)の二部(35才以上)において、みごと第3位に輝きました。

11月26日代表部員らが町役場を訪れ凱旋報告をしました。

1回戦は花高愛好会チーム(長崎県)に2対0でストレート勝ちし、2回戦は武蔵ヶ丘クラブに惜しくも敗れました。ご苦労様でした。

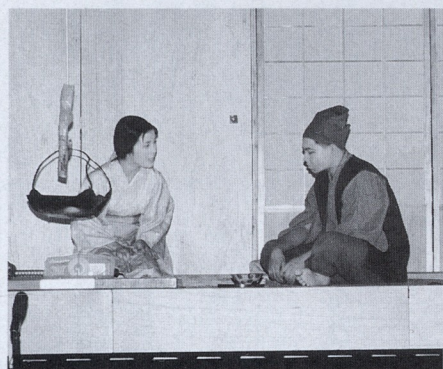


防犯連絡所の役割は?

「女性の立場から見た警察への提言」をテーマに、婦人と地域の安全を語る会(主催・浦添警察署)が、12月11日午後、浦添署内で行われました。

町婦人連合会(下地郁子会長)及び浦添市婦人連合会から計17名が、浦添署に対する意見・要望・提言をする自由討論の場。

①情報交換の場が必要、②駐車違反は住民の意識改革が必要、③防犯連絡所の充実などが提言されました。



見せました!中学生の底力

西原東中学校(具志堅源三校長)は、「共に学ぼうわれらの文化」をテーマに、文化祭を12月1日午前10時から、同校で開きました。

全校生徒609人が、各学級ごとに小テーマを決め、沖縄の文化や身近にある沖縄の葉草、沖縄の年中行事などを各教室で展示。また、舞台(体育館)では、吹奏楽部の演奏や英語劇、琉球舞踊などが行われ、フィナーレの演劇「夕鶴」は、西原東中の底力を見せました。



楽しみながらも真剣顔

町PTA連絡協議会(新川雅愷会長)は、11月17日午前9時30分から、西原小学校運動場で第3回町PTA運動会を開きました。

この運動会は、地域に根ざした広域的PTA活動をアピールし、地域活動の輪を広げ、併せて会員相互の融和と青少年健全育成の強化を図るためのもの。

各単P(5校)ごとにハチマキで色分けし、参加者全員がさわやかな汗を流しました。



町社会福祉大会表彰のまよう

ありん
くりん

幅広い福祉の ネットワークづくりを

第7回町社会福祉大会

「町民ぐるみで豊かな長寿社会を建設しよう」「在宅福祉の強化を図るため関係団体との連携を図ろう」をスローガンに、町社会福祉協議会(宮平吉太郎会長)は、町社会福祉大会を十一月二十二日午後、町中央公民館で開催しました。大会では、意見・体験発表が行われ、特別養護老人ホーム守札の里の比嘉善秀施設長が「施設福祉の現況と在宅福祉との関わりについて」、町心身障害児(者)を育てる会の呉屋定子会長が「障害者と共生する地域社会づくり」、西原高校三年生の新垣貴子さんが「天使の笑顔」、町保健婦の宮里澄子さんが「支えあればネ

ットワーク」と題してそれぞれ発表しました。

また、社会福祉の増進に貢献した個人十六人、四団体に表彰状、感謝状が贈られました。

なお、表彰された方は次の通り (敬称略)

▽特別功労・宮平春子▽表彰・比嘉玄吉、安谷屋昌夫、喜納千代、伊波ウト、比嘉茂子、呉屋光子、下地郁子、糸数ノリ子、呉屋盛徳、与儀兼一、▽感謝状団体・金秀グループ、町商工会、町老人クラブ、民踊レクサークル、西原ライオンズクラブ

▽感謝状個人・翁長ウシ、与那嶺喜一、牧野博嗣、呉屋フランク、宮平カマ



練習する伊佐クラブのメンバー(円内が伊佐先生)

シリーズ

がんばってます ⑧

心を強くする ために

心を鍛えないと技が伸びない」と話す伊佐真市先生(西原東中学校教諭)は、卓球の「伊佐クラブ」の指導者です。伊佐クラブは、地域の子ども達に、卓球の練習を通して仲間とふれあい、卓球を一つの手段としているいろいろな経験

をさせることを目的に、毎週火・木・土曜日午後七時から九時までの二時間、西原東中学校体育館で活動しています。現在地域の小・中・高校生約七十人が加入し、集団生活におけるマナーの指導や、外国(台湾)で交流したり、県内の大会で優勝するなど、町内外から注目されています。

先生は、同校の生徒指導担当でもあることから、条件として終了時の子ども達の迎えを父兄へ義務づけしているとのこと。

社会体育の一環として、ボランティアで指導している伊佐先生は「卓球をすることによって心を強くすることが目的。心を強くするには、常に正しい行動をすること」である。今後は、地味であくまでもスポーツを通じての指導者(後継者)を望みます」と話していました。

試合に勝つには、心が五〇%、技が五〇%と語る伊佐先生、これからも子ども達のために、がんばって下さい。

「あなたが主役」 すすんで納め 相互でたすける国民年金

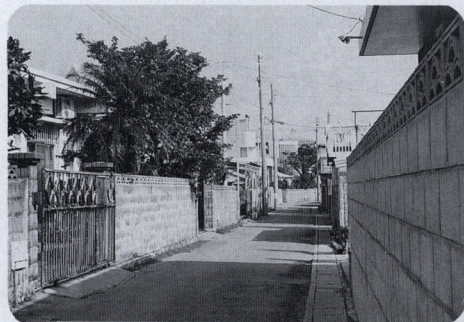
区の紹介コーナー

区民の積極的な協力を

美咲区

美咲区は、人口八百七人で二百三十世帯(十一月末現在)の部落です。

これまでの十二区から新行政区へ移行する時、区の名称について区民へ公募した結果「美咲」に決まりました。子ども会と青年会が早めに結成されることを望んでいる



という事務担任者の崎原裕右さんは「規約を定めて区費を徴収して、部落行事に取り組んでいるが、区民の積極的な協力がほしい。また、アパート入居者の協力もお願いしたい」と話していました。

伝統行事は区民総手で

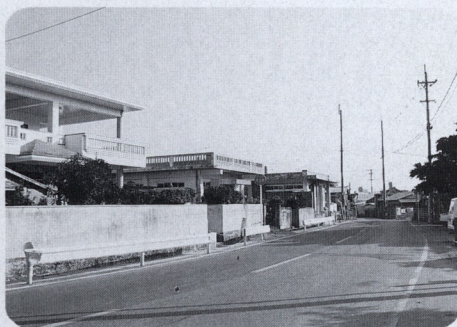
我謝区

我謝区は、人口千八百七十四人、五百三十四世帯(十一月末日)で、翁長に次ぐ町内で二番目に大きな部落です。

区民の協力意識が高く、つなひきや獅子舞などの伝統行事へは、区民が総手で取り組みます。

公民館を建設する予定という事務担任者の小川孝さんは「町に対し、部落内の里道や生活道路の整備を要請している。以前から区民が協力的な

ので、大きな行事も続いています」と話していました。



盛り上ってきた区民意識

西原ハイツ区

西原ハイツ区は、人口五百五十一人で百三十七世帯(十一月末現在)の自治会です。

各地から集まった寄合いの新興住宅で、比較的高台にあるため見晴らしもよく、道路も整備され、住み良い環境に

あります。

子ども会や婦人会活動が、最近では活発になり、いろいろな行事にも参加者が多くなっています。

共同浄化槽の維持管理が負担という事務担任者の山城茂子さんは「町は下水道の設置を早期に実現してほしい。また、西原ハイツから新設南小学校までの通学路を検討してほしい」と話していました。



こんにちは
ひとこと
③

坂田小学校 六年

田仲織江さん

児童会役員(書記)としてがんばっている田仲織江さんが「坂田小の好きところは、いじめがなくて仲よくがんばっているところ。でも、時間を守らないで遊んでいる時もあるから、守ってほしい」と話していました。

田仲さんの優しい笑顔が印象的でした。

豆記者の一週間

西原中学校2年
當間 久



「豆記者団? 本州広域取材班? 何ですかそれ」

「沖縄から代表で本州へ行って本州の様子などを取材するんだよ」

僕が不思議そうに聞くと、生徒会の新里先生が答えて下さった。そして

「當間君、学校代表とし応募してみようか」と、おっしゃったので僕はうかれて言った。

「はい! 応募してください。」

お願いします」

次の日から僕はまだ受かっていないのに、もう旅行気

分で出かける準備を進めていた。何日かして手紙がきた。沖縄県代表になったのだ。手紙には事前研修があると書いてあった。

事前研修の日僕は、母と一緒に話を聞いてびっくりした。

「豆記者は取材した事柄をまとめて新聞を作る」と言っていた。事前研修ではインタビューのしかた、新聞の書き方、移動中の注意などの話で、とても旅行という感じではなかった。もつとびっくりしたのは七月三十一日に船で東京に行く予定が、台風の影響で八月一日に飛行機で行く事になった。

そして待ちに待った八月一日がやってきた。那覇空港で出発式をしている時、新聞記者やビデオカメラを写している人などがいたので、有名人になった気分でした。豆記者は小学六年生が多くて、中学二年の僕は二班の班長になった。「班長か、がんばるぞ!」心の中で決意した。

沖縄から飛行機に乗って約二時間、東京に着いた。空港から当日の宿泊地まで、バス

に乗ったのでバスから東京の景色が見えた。とても高いビルがいっぱいあって、道を歩く人もサラリーマンが多かった。「これが都市か。すごいきやかなあ」と思った。バスは高速道路を走っていたけど、じゆうたいで少ししか進まないの、景色がゆっくり見られた。バスに乗って約四時間、やっと宿泊地のオリンピックセンターに着いた。一日目はこうして終わった。

八月二日の朝、起床は六時三十分なので時間どおりに起きた。今日の予定を見ると、文部省と沖縄開発庁を取材することになっていた。初の取材で僕は、ワクワクしながら宿泊地をバスで出た。

文部省で僕達が教育にかんする質問をすると詳しく話して下さったのでわかりやすかった。文部省から沖縄開発庁まで近いので、ビルの中を歩いて行くことになった。東京はムシムシとした暑さだった。沖縄開発庁では取材をしている時ジューズが出たので、暑さがなくなり取材に力が入った。

取材が終わって、次の予定を見ると都内見学とあった。僕はどんな所に行くのかなあ」とまたワクワクしてきた。バスに乗り国会議事堂や、NHK放送センターなどを見て回り宿泊地の東京青年文化会館で二日目は終わった。

三日目、プロ野球選手インタビューとナイター観戦。四日目、五日目、長野県で民宿を体験。六日目、伊勢神宮参拝。七日目名古屋空港から沖縄へ。

このようにして豆記者の一週間は終わった。スケジュールがとてもハードで、しかも新聞を四枚も作ったのでたいへんでした。でもとてもたのしかったし、よい体験をしたと思う。

母が「一週間前より変わったね。大きくなったんじゃない」と言った。僕は「そんなはずないよ」と、にこにこ笑いながら言った。でも何かが大きく変わった一週間だった。機会があったら、何度でも体験したい一週間だった。

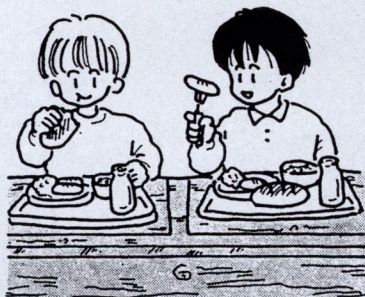
豆記者に参加させてくれた父と母に感謝します。引率の先生方と民宿先の御家族にはお世話になりました。それから費用をだしてくれた教育委員会と、PTAのみなさんどうもありがとうございました。いろんな人たちのおかげで豆記者になれました。

長いようで短かった豆記者の一週間、参加して本当によかったなあと思いました。

豆記者交歓会参加者

▽又吉時成、國場絵梨子(西原小学校)▽泉川美咲、平良祥子(西原東中学校)▽當間久(西原中学校)

(他四名については、紙面の都合で省略させていただきます。ご了承ください。)



全国学校給食週間
(1月24~30日)

平成4年度保育所入所児童募集

受付は1月14日～31日まで

平成4年4月から保育所に入所を希望する児童の受付をいたします。

保育所は、その児童の保護者が、就労、出産、疾病及び病人の看護等の為、保育できない場合、その児童の保護者に代わり日々保育する児童福祉施設です。

受付期間は、1月14日より1月31日までの日程で町役場福祉課で行います。

入所措置決定にあたっては、入所基準に該当するものの中から児童の家庭状況等を聴取又は調査のうえ、保育に欠ける程度の高い児童から募集人員に応じ入所を決定します。

申請書は、町役場福祉課に準備しております。

なお、保育所名及び定員は次の通りです。

☆詳しくは、町役場福祉課保育所係へお問い合わせ下さい。

☎ 945-5011(内14)

保育所名	定員	保育所名	定員
西原保育所	60名	愛和保育園	90名
坂田保育所	90名	さざなみ保育園	90名
西原白百合保育園	90名	小川保育園	60名

寄付・香典返し

- ①▽町商工会(呉屋定子会長)が、第十五回親睦ゴルフ大会の収益金を歳末助け合い義援金として、共同募金会西原町分会へ二十万円。
- ②▽町商工会婦人部(我謝豊子部長)が、西原まつりバザー収益金の一部を町社協へ五万円。
- ③▽字小波津二百三十三番地の二、金城光子さんが、社会福祉事業に役立ててくださいと町社協へ一万円。
- ④▽字棚原七十七番地の一、伊波貞子さんが、八十歳を記念して、町社協へ五万円。
- ⑤▽呉屋フランクさん(在ロサンゼルス)が、母(呉屋キヨさん)のカジマヤー(白寿)を記念して、町社協へ十万円。
- ⑥▽牧野博嗣さん(那覇市)が、母(呉屋キヨさん)のカジマヤー(白寿)を記念して、町社協へ十万円。
- ⑦▽字与那城五十八番地、宮平カマさんが、トリーカチ(米寿)を記念して、町社協へ十万円。
- ⑧▽字与那城三百二十二番地、新城良一さんが、故妻千代さんの香典返しとして、町社協へ十万円。

平成4年1月1日から
老人医療費の一部負担金が変更になります。

通院1か月 800円が……→900円
入院1日に 400円が……→600円
に変わります。

本格的な高齢社会に向け老人人口の増加に伴い老人医療費が増大していくなかで、国や地方や老人自身も費用の負担を適切に分ち合い、老人医療制度の長期的安定を図る観点から、老人訪問看護制度の創設、介護に着目した公費負担割合の引上げ、一部負担金の見直しがおこなわれました。

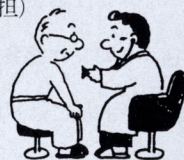
本町では、平成元年度7億3千万円(1,224人)、平成2年度8億2千万円(1,288人)、平成3年度には8億9千万円(1,357人)が見込まれております。

老人の医療費は無料と考えられがちですがこの医療費は、70%は各個人が加入している会社等の健康保険料や国民健康保険税から、また、残りの30%は、国が20%、県が5%、西原町が5%の負担金で支払われています。軽度な運動、腹8分目の食事、趣味をもつことなど日頃から健康に気をつけ必要な時に医療を受けることが医療費の伸びをおさえ、各世帯の健康保険料を少なくすることにつながります。

平成3年度西原町
老人医療費見込額

8億9千万円

70% 6億2千200万円(社会保険料、
国民健康保険税)
20% 1億7千800万円(国負担金)
5% 4千500万円(県負担)
5% 4千500万円(町負担)



※詳しくは、町保健衛生課へ ☎945-5013

訂正・おわび

広報第二百三十八号(十二月号)十三面の寄付・香典返しの中で、「元石部隊第十一独歩」は、「元石部隊第十一独歩」が正しいので、訂正しおわび申し上げます。

西原町文化協会民謡部会第1回発表会
(チャリティー)

主 催：町文化協会民謡部会
日 時：平成4年1月26日(日)
午後6時
場 所：町中央公民館ホール
入 場 料：1,000円
チケット販売：西原町教育委員会
T E L 945-3655

わたしたちは、だれにも親切にし、互いに助け合いましょう(町民憲章)

1月(JAN)行事・祭事予定

- 3日(金) ○町社協食事サービス 10:00 町中央公民館
- 4日(土) ○御用始め
○年始会 16:00 町中央公民館
- 5日(日) ○新春トリムマラソン 9:00 西原小学校グラウンド
○町民かきぞめ大会 8:30 町民体育館
- 8日(水) ○心配ごと相談 14:00 社会福祉センター
○くわあーレクラブ 15:00 児童館
- 10日(金) ○町社協食事サービス 10:00 町中央公民館
- 11日(土) ○DPT 13:00 町中央公民館
○ビデオ大会 14:00 児童館
○町役場閉庁
- 12日(日) ○第11回中頭郡駅伝大会 9:00 北谷町中央公民館
- 15日(水) ○町成人式 14:00 町中央公民館
- 16日(木) ○1歳半健診 13:30 町中央公民館
- 17日(金) ○町社協食事サービス 10:00 町中央公民館
- 18日(土) ○DT 13:30 町中央公民館
- 19日(日) ○剣道、なぎなた大会 9:00 町民体育館
- 21日(火) ○3歳児健診 13:30 社会福祉センター
- 22日(水) ○心配ごと相談 14:00 社会福祉センター
○離乳食実習 13:30 町中央公民館
○くわあーレクラブ 15:00 児童館
- 24日(金) ○町社協食事サービス 10:00 町中央公民館
- 25日(土) ○坂田保育所発表会 9:00
○町役場閉庁
- 26日(日) ○町文化協会民謡部会第1回発表会 18:00 町中央公民館
- 29日(水) ○心配ごと相談 14:00 社会福祉センター
○くわあーレクラブ 15:00 児童館

女性コーナー 連載8

いっそ自分たちでつくろう

―女性のための労働の整備―

企画課 安里 英子

西原町は現在、女性行動計画をつくっているところですが、その中で特に、働く女性のための条件整備というのがあります。

本町では、アンケート調査によると共働きの割合は二、三人に一人と、他町村に比べて比較的高い割合を示してい

ます。これに未婚の人や単身者の働いている人を加えると、多くの女性たちが外に出て働いていることになります。働くことについてはそれぞれが、様々な悩みを抱えていると思いますが、とりわけ共働きの夫婦にとっては、子供をどう育て教育していくかの問題は

一番大きいことと思います。なぜならば保育所の問題など、働く女性を支えていくための社会的条件や、あるいは夫婦(男女)間の相互理解が必ずしもうまくいっているからではないからです。

自分の能力を生かすために働きたい人、家の借金や子供の教育費を稼せぐために働かなければならない人などさまざまなだと思います。しかもこれからの社会は、どんどん高齢化していきますので(労働者の高齢化)、そのことも考え

ていかなければなりません。では、私たちの身の回りに、これだけの人々の欲求を満たしてくれる働く場があるでしょうか。

こんな仕事をしてみたい、でも働く場がないというのなら、いっそ自分たちでつくってみてはどうでしょうか。新しいタイプの地域産業は案外こんな風にしていまれているのかもしれない。次は具体的にどのような産業をおこしていくのかその可能性についてふれてみたいと思います。

平成4年度町職員 採用試験実施要綱

一、職種

一般事務職 若干名
図書館司書 〃
現業職 〃

二、資格

①昭和37年4月1日以降出生者(現業職は昭和27年以降)で、西原町に住所を有する者
②高等学校卒業(卒業見込を含む)以上の学歴を有する者
(現業職は中学校以上)
※身体障害者についても同様とする。

三、試験日時・場所

日時 平成4年2月9日(日)
午前9時30分
場所 西原町中央公民館

四、受験申込

受付期間 平成4年1月13日～
1月24日まで
提出書類
①自筆履歴書②卒業証明書③住民票④資格証明書⑤身体障害者手帳の写し(身体障害者のみ)

※尚、詳細については町役場総務課(☎九四五〇一)まで